

協同組合石けん運動連絡会30年の歩み

協石連年度	研究交流集会・フォーラム関連・シャボン玉月間	行政・国への働きかけ・動き	協石連活動・関係団体の動き	日本生協連の動向、働きかけ	社会状況
1981	<ul style="list-style-type: none"> <li>●代表幹事: 横田克巳</li> <li>10/3結成集会in高松</li> <li>●第1回研究交流集会in滋賀(大津市)</li> <li>★テーマ「生命(いのち)と水のつどい」協賛: 滋賀県消費者団体連絡会・京都水問題を考える連絡会・淀川水問題を考える連絡会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1979年「滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」が成立</li> <li>・流山市、我孫子市、柏市などで市民による「洗剤追放条例制定」の直接請求が出される</li> <li>・茨城県「霞ヶ浦の富栄養化の防止に関する条例」成立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機関紙石けん運動月刊で創刊</li> <li>・洗濯機「協同」(石けんが溶けやすい)を(株)ゼネラル製造と共同開発・販売)</li> <li>・”スーパー店頭から合成洗剤追放を、”首都圏生協事業連が西友ストアー本店で交渉</li> <li>・合成洗剤追放・石けん使用の運動を地域社会に鋭く提起した直接請求運動を展開</li> <li>・1978年「びわ湖を守る粉石けん使用推進県民運動県連絡会議(せつけん会議=のちにびわ湖会議)」発足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗剤による水環境への影響を鑑み、1966年コープソフト開発→1969年セフター発売→1972年蛍光増白剤を無配合→1980年無リン合成洗剤コープセフター発売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鈴木善幸首相</li> <li>・大阪の水道水にトリハロメタン検出</li> </ul>
1982	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第2回研究交流集会in熊本(くまもと生協) ★テーマ「新しい生き方を創る運動」</li> <li>●第3回研究交流集会in神奈川(川崎)生活クラブ神奈川★テーマ「石けん・洗濯・洗髪」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州市議会が「合成洗剤追放直接請求」を否決</li> <li>・「神奈川県洗剤対策推進方針案(LAS、リン規制)石けん使用拡大を旨とすること」に反対することについての請願が日本石鹼洗剤工業会より提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・16ミリ映画「新せつけん物語」製作(青林舎)54分カラー 上映・販売</li> <li>・石けん・合成洗剤用語辞典第1刷発行</li> <li>・「いま飲料水はトリハロメタンの追及」発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日生協理事会、所属県連理事会へ「より良い洗剤から石けんへ復帰」の呼びかけを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中曽根康弘首相</li> </ul>
1983	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第4回研究交流集会in北海道(札幌)生活クラブ北海道 ★テーマ「協同の力で石けんを使う暮らしを全国に広げよう」</li> <li>●第5回研究交流集会in千葉(我孫子)手賀沼漁協・生活クラブ千葉 ★内容「日本の湖沼で一番汚れている手賀沼を見学し実態を調査する」</li> <li>・組織内石けん全員使用運動開始</li> <li>・石けん利用実態調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我孫子市「石けん利用推進要綱」案</li> <li>・秋田大湯村農協MO(水田除草剤)使用中止</li> <li>・川崎市、LAS抜き無リンを推進</li> <li>・札幌、合成洗剤追放直接請求実施</li> <li>・高知県、石けん使用による生活廃水の実態調査</li> <li>・岡山県無リン合成洗剤追放へ</li> <li>・宮崎県、有リン洗剤自粛で三町が条例化</li> <li>・合成洗剤に関する意見書 法廷署名5倍も無視し否決(草加市直接請求)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚染布による洗浄力テスト(石けん工場との提携)</li> <li>・水道法18条に基づく水質検査請求</li> <li>・福岡地区連で石けんシャンプー開発</li> <li>・手作りせつけんNGOによる日本石けん工業会発足</li> <li>・協石連3年目の課題(総会にて)1つは交流から目的をしぼった共同研究の強化、2つめは共同行動…必ずしも運動を統一することが目的ではないが共通課題について一斉に取り組むことは社会的な影響力をもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗浄成分の原料を枯渇原料である石油からヤシ油へ変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生省環境衛生局が『洗剤の毒性とその評価』に検討結果をまとめて刊行、(合成)洗剤の安全性に問題なしと発表</li> <li>・洗剤・洗たく石鹼に関する「家庭用品品質表示法」改正</li> </ul>
1984	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第6回研究交流集会in福岡 福岡県生活協同組合連合会 ★テーマ「地域活動として広がる石けん運動をとらえて」</li> <li>●第7回研究交流集会in岩手(宮古)重茂漁協 ★内容「わかめ、こんぶ加工場、漁場の見学」</li> <li>・シャボン玉月間活動スタート「組合員全員石けん使用月間」を7月として設定(車両横断幕作成)</li> <li>・組織内石けん使用実態調査</li> <li>★キャッチコピー『せつけんを 使うぼくたち 健康家族』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県「合成洗剤環境影響調査団の報告書」を元にLASの有害性を明らかにする解説書を作成する準備を始める</li> <li>・札幌市議会にて「公共施設での合成洗剤使用禁止条例」を否決</li> <li>・江戸川区「石けん市民大学」無蛍光肌着をテーマに開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「水と食」発行</li> <li>・「よみがえれ洗濯という仕事」発行</li> <li>・「石けんと合成洗剤」発行</li> <li>・石けんと無リン洗剤の溶解度比較調査</li> <li>・日本せつけん工業会発足</li> <li>・洗剤のいらぬ超音波洗濯機をジャパンエース、日大教授と協同開発開始</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・無リン洗剤のシェア9割を突破</li> <li>・「合成洗剤・石鹼の表示に関する公正競争規約」制定</li> <li>・世界湖沼環境会議、琵琶湖宣言発表</li> </ul>

協同組合石けん運動連絡会30年の歩み

協石連年度	研究交流集会・フォーラム関連・シャボン玉月間	行政・国への働きかけ・動き	協石連活動・関係団体の動き	日本生協連の動向、働きかけ	社会状況
1985	<p>●第8回研究交流集会in大阪 泉北生協・大阪市立大生協・千里山生協・泉南生協・和歌山生協・神戸大生協・湖南生協★                      テーマ「石けん運動の到達点と今後」                      ●第9回研究交流集会in長野（生活クラブ長野）★テーマ「自分の水を始末する」                      ・車両マスク・ポスター作成、行政や他団体への呼びかけを進める                      ・第2、第3会組織内石けん使用実態調査                      ★キャッチコピー『おかあさん のこしておいてね きれいな水を』</p>	<p>・石けん工場をつくろう市民集会(川崎)                      ・江東区「すべての合成洗剤をなくし 安全な石けんの普及を求める請願」提出 ・生活クラブ東京水道水の水質検査請求都知事に提出</p>	<p>・廃食油利用の手作り石けん運動                      ・合成洗剤を不買する運動と並行して合成洗剤を追放する取り組み(各団体)                      ・協石連訪中                      ・水質調査「合成洗剤を追放する埼玉連絡会」(県内13河川、24ポイントで開始)                      ・「よみがえれ洗濯という仕事」第2版完成</p>	<p>・日生協へニュークリーンの取り扱い中止を要請</p>	<p>・洗剤(粉末)の無リン化が完了                      ・化粧石鹼、固形洗たく石鹼のJIS規格が公布                      ・花王石鹼株式会社「花王株式会社」に社名変更                      ・窒素・リンが水質汚濁防止法の排出基準の項目に加えられる一湖沼水質保全特別措置法</p>
1986	<p>●第10回研究交流集会in千葉 市民クラブ生協・柏市民生協・花見川生協・下総生協・東邦大生協・生活クラブ千葉・手賀沼漁協★テーマ「石けんの街づくり」                      ●第11回研究交流集会in宮城(仙台)仙台共同購入会★内容「しゃぼん今・昔 政宗としゃぼん、水を始末する」                      ・第4回組織内石けん使用実態調査 石けん使用は60%に！                      ★キャッチコピー『きれいな水は 地球のいのち』</p>	<p>・合成洗剤は安全であると1986年度教科書検定レポートに記載</p>	<p>・地域における石けんづくり                      ・若者向け石けんシャンプー第1次モニタリング                      ・手賀沼せつけん工場竣工式 ・第1回石けんまつり開催 遊佐町農協</p>		<p>・花王のアタック発売(酵素入りコンパクト洗剤スタート)</p>
1987	<p>●第12回研究交流集会in東京 ★テーマ「四全総と自然循環」                      ●第13回研究交流集会in埼玉(生活クラブ埼玉)★テーマ「都市化による水環境の悪化は食い止められるか」                      「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」へと改称し、運動推進。                      ★キャッチコピー『みんなでせつけん生活』 ◆首長メッセージ始まる、20団体(自治体・団体)</p>	<p>・多摩市市議会でメダカの実験、行政が石けん使用を指導へ</p>	<p>・蛍光増白剤の解明(資料収集)                      ・無蛍光衣料の普及</p>		<p>竹下登首相                      ・ライオンのハイトップ(酵素入りコンパクト洗剤)発売                      ・朝シャンブームが話題に                      ・皮膚障害の第1位は合成洗剤(厚生省、家庭用品に係る健康被害モニター報告)                      ・化学物質審査規制法改訂</p>
1988	<p>●第14回研究交流集会in新潟 ★テーマ「いのち自然暮らしを考える 石けんライフを拓けよう」                      ★第1回シャボン玉フォーラムin滋賀(湖南生協)                      ★キャッチコピー『子どもたちに手渡したい きれいな川 豊かな自然』                      ◆首長メッセージ 18(自治体・団体)</p>		<p>・新しい石けん類の可能性を探る                      ・若者向け石けんシャンプー第2次モニタリング・天然脂肪酸を原料にした石けん類に「エコマーク」を協石連が環境庁に要望書を提出                      ・コンパクト洗剤の市場調査                      ・洗濯機に取り付ける強制送風装置考案                      ・びわ湖会議10周年→滋賀県の石けん使用率31%に減少(ピークは1975年の71%)</p>	<p>・全自動洗濯機の普及が進む中、コンパクト化を実現。酵素(フロテアーゼ:たんぱく分解酵素)を配合。</p>	<p>・オゾン層保護法成立・林野庁が酸性雨の森林に与える影響の調査開始・環境庁、環境白書刊行</p>

協同組合石けん運動連絡会30年の歩み

協石連年度	研究交流集会・フォーラム関連・シャボン玉月間	行政・国への働きかけ・動き	協石連活動・関係団体の動き	日本生協連の動向、働きかけ	社会状況
1989	<p>●代表幹事：細谷卓爾(副：池田徹) ●第15回研究交流集会in長崎★テーマ「リゾート開発と環境」 ★第2回シャボン玉フォーラムin神奈川(生活クラブ神奈川) ★キャッチコピー『せっけんで守る 地球のいのち ぼくらの健康』</p>	<p>・12月「生活排水による汚濁水域浄化モデル事業」に関する予算化を国会に陳情</p>	<p>・若者向け新石けんシャンプー・リンス「ウイルケア」4月より供給開始 ・ビデオ製作「せっけんが いいね」彼の洗濯レッスン ・川崎市民石けんプラント建設 ・「全自動洗濯機を使った上手な洗濯の仕方」ビデオ作成</p>	<p>・ごみ減量をコンセプトに詰め替え用を開発</p>	<p>宇野宗祐首相・海部俊樹首相</p>
1990 (平成元年)	<p>●第16回研究交流集会in宮古(重茂漁協) ★テーマ「海の汚染と合成洗剤」 ★第3回シャボン玉フォーラムin大阪(千里山生協) ★キャッチコピー『I LOVE せっけん！わたしたちエコロジー派』 ◆首長メッセージ48自治体</p>		<p>・協石連結成10年を迎え拡大幹事会開催(大阪) ・(これからの協石連について)協同組合の名称は変えずに協同組合以外の加入者希望を認める。 ・石けんに切り替える運動にこだわった活動を継続する、水環境問題全般に渡る研究交流をさらに広げる、石けん運動、水環境運動での国際交流活動を積極的に進める、連絡会として商品開発はしない。 ・石けん運動の主体は言うまでもなく会員組織、協石連は会員組織の活動に資する情報媒体、特にビデオなどビジュアルな開発を強化する。</p>		
1991	<p>●代表幹事：藤井絢子 ●第17回研究交流集会in北海道(生活クラブ北海道)★テーマ「森と海と川 そして生活」 ★第4回シャボン玉フォーラムin東京(首都圏コープ) ★キャッチコピー『人間のみなさん！せっけんつかおうよ！』 ◆首長メッセージ61自治体</p>		<p>・初めて予算化して始まった国際交流 リサイクルせっけん協会主催、韓国、マレーシア、タイの石けん工場視察、英文の協石連パンフレット発行をしブラジルで開催された地球サミットで配付 ・ウイルケアシャンプー ・リンスの改善(添加物を入れずに粘度を加えるため原料をパーム核油に変更) ・日本石けん工業会からリサイクルせっけん協会を設立(2月)</p>		<p>宮沢喜一首相</p>
1992	<p>●第18回研究交流集会in千葉 生活クラブ千葉 ★内容「手賀沼せっけん工場見学、全自動洗濯機を洗い直そう」 ★第5回シャボン玉フォーラムin鹿児島(グリーンコープかごしま) ★キャッチコピー『せっけんはエライ！』 ◆首長メッセージ89自治体</p>		<p>・欧州環境問題視察セミナーを企画・ドラム式洗濯機の開発(石けんが溶けやすい)</p>		<p>・環境と開発に関する国際連合会議(地球サミット・リオデジャネイロ)</p>
1993	<p>●第19回研究交流集会in 宮城(中新田) 仙台共同購入会 ★テーマ「農協と生協どう付き合うか」 ★第6回シャボン玉フォーラムin神奈川(生活クラブ神奈川) ★キャッチコピー『優しい洗濯 厳しい選択 未来を洗拭』 ◆首長メッセージ106自治体</p>		<p>・タイ、マレーシア石けん工場開設セレモニー参加 ・ビデオ「くらしの中のせっけん―洗う―ということ―」小学校高学年用ビデオ 製作・販売</p>		<p>細川護熙首相 ・平成の米騒動 ・環境基本法成立</p>

協同組合石けん運動連絡会30年の歩み

協石連年度	研究交流集会・フォーラム関連・シャボン玉月間	行政・国への働きかけ・動き	協石連活動・関係団体の動き	日本生協連の動向、働きかけ	社会状況
1994	<p>●第20回研究交流集会in 山形(米沢)★ テーマ「アジアの生産現場から」 ★第7回シャボン玉フォーラムin神戸 (都市生活～大阪府事業連合) ★キャッチコピー『石けん1つでピッカピカ!!』 ◆首長メッセージ92自治体</p>		<p>・第1回アジア市民生活環境会議(アジアせっけん会議)がスタート(千葉:生活クラブ風の村 参加:40名) ・協石連の今後を考える懇談会を開催、なるべく一部の組織に大きな負担をかけない形で協石連の形を継続しよう、となった。</p>	<p>・環境への配慮や経済性を追求し、コープセフターEを開発。</p>	<p>羽田孜首相・村山富一首相 ・米の緊急輸入 ・製造物責任法(PL法)成立(1995年施行) ・東京23区でゴミ袋の半透明化を本格実施</p>
1995	<p>●代表幹事:吉武洋子 ●第21回研究交流集会in大阪 大阪府事業連★テーマ「身近な自然に関心を持ち、身近な環境を守ろう!」 ★第8回シャボン玉フォーラムin熊本(阿蘇)(グリーンコープくまもと共生社・くまもと生協・熊本大学生協・グリーンコープ連合・(財)阿蘇グリーンストック) ★キャッチコピー『ゆめじゃないよね きれいなお水!』 ◆首長メッセージ112自治体</p>	<p>・「水道水の水質基準項目に非イオン界面活性剤を入れることについての要望書」を厚生省に提出</p>		<p>・工場点検にHACCP手法を導入/開発 商品検査システム開始</p>	<p>橋本龍太郎首相 ・阪神淡路大震災 ・容器包装の分別収集・再商品化促進法(容器包装リサイクル法)成立・公布</p>
1996	<p>●第22回研究交流集会in埼玉(生活クラブ埼玉)★テーマ「石けん運動の現状と課題」 ★第9回シャボン玉フォーラムin北海道(生活クラブ北海道) ★キャッチコピー『きれいな水にすみたい!』◆首長メッセージ112自治体</p>	<p>・「非イオン界面活性剤の調査と水道水質基準値・排水基準値設定を求める要望書」を厚生省に提出</p>			<p>・O-157による食中毒事件多発 ・「奪われし未来」発表</p>
1997	<p>●第23回研究交流集会in仙台 仙台共同購入会★内容「きれいな水へのあこがれ、首都圏のゴミ棄て場・東北」 ★第10回シャボン玉フォーラムin東京(生協東京マイコープ・首都圏事業連合) ★キャッチコピー『地球大好き!石けんライフ!』◆首長メッセージ155自治体</p>	<p>・北海道厚岸町が石けん購入に助成金</p>	<p>・第4回アジアせっけん会議・モンゴルに参加</p>	<p>・「合成洗剤を有害だといって避けなければならない根拠はない」というデータと報告を発表(コープネット事業連合; LAS系洗剤の解禁)</p>	<p>・気候変動に関する国際連合枠組条約の京都議定書採択 ・容器包装リサイクル法施行 ・家庭用品品質表示法表示規定大幅改正 ・「環境ホルモン」という言葉が広がり始める</p>
1998	<p>★第11回シャボン玉フォーラムin大分(グリーンコープ大分) ★キャッチコピー『くさいな、きれいなお水!!石けん使おう!』◆首長メッセージ172自治体</p>		<p>・「洗剤の変異原性と染色体異常の実験」を神戸大学「讃岐田研究室」に依頼 ・アジア市民生活環境展 韓国に参加 ・びわ湖会議20周年</p>	<p>・コープとうきょうLAS洗剤取扱い・「食品の安全に関わる生協の基本政策」:商品事業へのリスクアセスメントの考え方の採用</p>	<p>小淵恵三首相</p>
1999	<p>★第12回シャボン玉フォーラムin長野(生活クラブ長野) ★キャッチコピー『石けん・発見・自然が元気』◆首長メッセージ173自治体</p>			<p>・品質管理マネジメントシステム ISO9001認証取得(商品開発領域)</p>	<p>・ダイオキシン特別処置法</p>
2000	<p>★第13回シャボン玉フォーラムin兵庫(都市生活) ★キャッチコピー『安心キレイ 石けん派宣言!!』◆首長メッセージ200自治体</p>		<p>・神戸大学「讃岐田研究室」より界面活性剤の生物毒性に関する検証結果報告を受ける。 ・滋賀県のびわ湖会議が「石けんも洗剤も適正に使用する」と方針転換(「エコキッチン革命」を提唱)</p>		<p>森喜朗首相 ・介護保険制度施行 ・容器包装リサイクル法が完全施行。3R活動が推進され、詰め替え製品の普及進捗。</p>

協同組合石けん運動連絡会30年の歩み

協石連年度	研究交流集会・フォーラム関連・シャボン玉月間	行政・国への働きかけ・動き	協石連活動・関係団体の動き	日本生協連の動向、働きかけ	社会状況
2001	<p>★第14回シャボン玉フォーラムin千葉(生活クラブ千葉)</p> <p>★キャッチコピー『シャボンの香りの君が好き！』川も湖も海も、きれいがうれしい…。だからせっけん！』</p> <p>◆首長メッセージ201自治体</p>	<p>・化学物質排出把握管理促進法施行 (PRTR法)</p>	<p>・朝日新聞暮らしページ「せっけんも地球を汚す？」の掲載記事に抗議と要請</p> <p>・第8回アジアせっけん会議マレーシア参加</p>	<p>・食品衛生法抜本改正国会請願採択(1,373万筆の署名活動)</p> <p>以降、食の安全の社会システム整備が進む</p>	<p>小泉純一郎首相</p> <p>・家電リサイクル法、食品リサイクル法施行</p> <p>・地球温暖化防止ボン会議, 京都議定書運用で合意へ</p> <p>・国内で初のBSE感染牛が確認される(千葉県)</p>
2002	<p>★第15回シャボン玉フォーラムin山口(グリーンコープやまぐち)</p> <p>★キャッチコピー『石けんで発見・体験・優しい暮らし』 ◆首長メッセージ200自治体</p>		<p>・ウィルケアシャンプー、リンス(パラベン排除)のリニューアル</p> <p>・協石連20周年企画ドイツ・エコツアー</p> <p>・第10回アジア市民生活環境会議台北、アジア太平洋NGO環境会議参加</p> <p>・有害化学物質削減ネットワーク(Tウオッチ)設立総会</p>		<p>・雪印食品, 輸入牛肉すり替え事件</p> <p>・日本ハム, 輸入牛を国産牛と偽装認める</p> <p>・東電社長, 会長辞任. 原発トラブル隠し</p> <p>・化粧品類の全成分表示実施</p>
2003	<p>★第16回シャボン玉フォーラムin愛知(生活クラブ愛知)</p> <p>★キャッチコピー『せっけんで暮らしを洗濯 未来を選択』◆首長メッセージ220自治体</p>	<p>・環境省・経産省より第1回PRTR情報公表</p>	<p>・水道水及び水道原水(河川水)の環境ホルモン調査</p>	<p>・日生協PRTR制度が施行され6種類の合成海面活性剤が指定物質に入っていることを承知した上で合成洗剤を販売しCOOPブランド石けん・複合石けんを、環境配慮商品から外すことを決定した。</p>	<p>・米で最初のBSE感染牛発生. 日本等, 米からの牛肉輸入禁止</p> <p>・食品衛生法改正に基づき残留農薬等に関するポジティブリスト制度</p> <p>・国連にてGHS表示採択</p>
2004	<p>★第17回シャボン玉フォーラムin宮城(あいコープ宮城)</p> <p>★キャッチコピー『石けんは あなたに優しい 未来に優しい』</p> <p>◆首長メッセージ218自治体</p>		<p>・第12回アジア環境会議インド・ボパールに参加</p>	<p>・日本生協連による「石けんからエコマーク表示を外す」に申入書を提出</p>	<p>・消費者基本法成立</p> <p>・出生率大幅低下し1.29-高齢化進む</p> <p>・米のBSE牛肉輸入停止により, 吉野家牛丼販売休止</p>
2005	<p>●代表幹事: 末吉美帆子</p> <p>★第18回シャボン玉フォーラムin大阪(エスコープ大阪)</p> <p>★キャッチコピー『せっけんはいのちをおもうやさしいきもち』</p> <p>◆首長メッセージ196自治体</p>		<p>・リサイクルせっけん協会主催「循環型社会づくりフォーラム」に参加 タイ</p>	<p>・第1回環境政策委員会開催し「エコマーク表示」の継続は困難との資料提示</p>	<p>・鳥インフルエンザ感染拡大、新型インフルエンザ懸念</p> <p>・伊藤ハム 輸入豚肉関税法違反事件</p>
2006	<p>★第19回シャボン玉フォーラムin神奈川(生協クラブ神奈川)</p> <p>・PRTRに関する自治体アンケート実施</p> <p>★キャッチコピー『せっけんライフ ～きれいな水・きれいな地球のために～』</p> <p>◆首長メッセージ193自治体</p>		<p>・Tウオッチ・化学物質政策基本法を求めるネットワーク(ケミネット)に参加。化学物質政策基本法の制定活動開始</p>	<p>・コープネット系列生協で「LAS洗剤解禁」へ</p>	<p>安部晋三首相</p> <p>・産地品種銘柄米偽造事件</p> <p>・職場管理におけるGHS施行</p> <p>・容器包装リサイクル法改正</p>
2007	<p>●代表幹事: 吉田由美子</p> <p>★第20回シャボン玉フォーラムin福岡(グリーンコープふくおか)</p> <p>★キャッチコピー『からだも自然もせっけん大好き！』</p> <p>◆首長メッセージ234自治体</p>	<p>・日本石鹼洗剤工業会が「我孫子市石けん利用推進対策審議会の設置及び運営に関する条例」の廃止に係る要請を提出、我孫子市は合成洗剤の安全性が確実に証明されるまで石けんの利用を今後も推進していくと回答</p>	<p>・協石連 日本石鹼洗剤工業会に対する申入れ(自治体への圧力の中止撤回)</p>	<p>・改正生協法成立、2008年施行</p>	<p>福田康夫首相</p> <p>・ミートホープの牛肉偽装発覚</p> <p>・比内鶏偽装事件</p> <p>・第1回アジア太平洋水サミット</p> <p>・蛍光増白剤のヒト健康と環境へのリスクは低いと公表(日本石鹼洗剤工業会)</p>

協同組合石けん運動連絡会30年の歩み

協石連年度	研究交流集会・フォーラム関連・シャボン玉月間	行政・国への働きかけ・動き	協石連活動・関係団体の動き	日本生協連の動向、働きかけ	社会状況
2008	<p>★第21回シャボン玉フォーラムin北海道(生活クラブ北海道)</p> <p>★キャッチコピー『昔からずっと これからもずっと やさしいせっけん』</p> <p>◆首長メッセージ260自治体</p>		<p>・第15回アジア生活環境会議 韓国に参加 市販品洗剤成分表示調査活動(約1,000名の参加)</p> <p>・びわ湖会議解散(5/28)</p>		<p>麻生太郎首相</p> <p>・中国製冷凍餃子中毒事件</p> <p>・事故米不正転売事件</p> <p>・生物多様性基本法</p> <p>・化管法指定化学物質の見直し</p>
2009	<p>★第22回シャボン玉フォーラムin岩手(生活クラブ岩手・重茂漁協)</p> <p>★キャッチコピー『“せっけんっていいな♡” 地球のキモチ』</p> <p>◆首長メッセージ282自治体</p>	<p>・化学物質基本法請願署名国会へ提出(協石連4万筆)</p> <p>・院内集会実施(PRTR学習会)</p> <p>・PRTR指定成分10種類へ(4種類追加)</p>	<p>・第16回アジア市民生活環境会議タイ、バングラデッシュ参加</p>		<p>鳩山由紀夫首相</p> <p>・消費者庁発足</p> <p>・消費者製品へのGHS表示ガイダンスを公表</p> <p>・「1回すすぎ」洗濯用洗剤が登場</p>
2010	<p>★第23回シャボン玉フォーラムin埼玉(生活クラブ埼玉)</p> <p>★キャッチコピー『せっけんで暮らしを洗濯 未来を選択』</p> <p>◆首長メッセージ276自治体</p>	<p>・エコプロダクツ大賞を受賞した「アタックネオ」に対する意見書を経済産業省へ提出(協石連)</p>	<p>・協石連の今後の運営および組織のあり方について全体で討議することとした</p>		<p>菅直人首相</p> <p>・改正化審法施行</p> <p>・洗濯用洗剤の液体タイプの市場が拡大、粉末タイプを逆転する勢いに</p> <p>・AO(界面活性剤)のヒト健康影響と環境影響に関するリスク評価を実施、問題ないと結果を発表</p>
2011	<p>★第24回シャボン玉フォーラムin東京(生協パルシステム東京)</p> <p>★キャッチコピー『つながろう 地球にやさしい せっけんで』</p>		<p>・組織変更の策定を進める</p>		<p>・日本石鹼洗剤工業会は家庭用消費者製品へのGHSの自主的導入を2011より順次導入(①台所用洗剤(食器洗い乾燥機用洗剤を除く)②塩素系漂白剤③塩素系洗剤・酸性洗剤(「まぜるな危険」表示のあるもの))</p> <p>◆3.11東日本大震災～福島原発事故発生</p>
2012	<p>☆第25回シャボン玉フォーラムin宮城(生協あいコープみやぎ)</p>				<p>・第2回アジア太平洋水サミット</p>